

TOYAMA

ヘルスケアコンソーシアム

目的 - THE PURPOSE -



富山県内のものづくり企業、高等教育機関、介護福祉施設等の連携により、介護施設等の環境の改善や健康増進のためのヘルスケア製品の開発を通じて、ヘルスケア産業を創出・育成し、とやまのヘルスケアのブランド化を図る。

富山県産業技術研究開発センター生活工学研究所の最新の人間工学・身体生理計測の評価機器を活用し、感性や五感をデータで可視化することで、数値の裏付けがなされたブランドを確立

体制と役割 - STRUCTURE AND CONTENT -

とやまヘルスケアコンソーシアムは、産学官による付加価値の高いヘルスケア製品の開発などを通してヘルスケア産業の振興を図ることを目的に、2019年12月に設立されました。2018年10月より活動している「ヘルスケア産業研究会」は、中核組織として位置付けられています。また、2024年からは「とやま医薬工連携研究会」が併合し、診断・治療分野の課題にも取り組みます。

とやまヘルスケアコンソーシアム推進委員会 (委員長：富山県知事)

富山大学	富山県機電工業会	富山県プラスチック工業会	富山県商工労働部、厚生部
富山県立大学	富山県アルミ産業協会	富山県繊維協会	富山県新世紀産業機構

◆ヘルスケア産業研究会 (機関数80 会員数106名) ◆とやま医薬工連携研究会 (機関数81 会員数153名)

- ①産学官連携による新たなヘルスケア製品・医療機器開発、新事業創出への支援
- ②コーディネート活動による地域の実情に応じたニーズシーズのマッチング、製品化へのサポート
- ③技術・市場動向の情報共有 (セミナー・勉強会・ワークショップ・介護現場見学会)
- ④研究事業により開発された新商品の販売促進を行うための展示会への出展

活動内容 - ACTIVITY -

シ

ンポジウム・セミナー・勉強会・施設体験見学会・ワークショップ



「誰もが生涯にわたり健康で自立した生活ができる社会」の構築を目指し、本研究会はヘルスケア・医療機器関連分野への新規参入や新事業創出などの促進・支援を進めます。本研究会活動に関心をお持ちの皆様のご入会をお待ちしております。